京都のINGを
CHECK IT OUT!!

口コミ情報カタログ

ハガキが語る

好き！嫌い！謎？

先月に引き続き6月号「パン香る京都」特集へいただいたハガキから驚きの一枚をご紹介。大阪にお住まいの方ですが「友人とMUJI（ラッツ近鉄店）で借りたレンタサイクルで、CFなどを片手に京都のパン屋15軒（！）をはしごしてきました！　こんなパン特集をする時には誰か入って下さい」とのコメント、自転車で！そして15軒！パンへの想いが彼女を動かしたのでしょうか？それとも…？　もうひとつ教えてもいたかったのは、どんなパンが気に入ったかってコト。続報待ってます。

目指せ艶髪　佐藤紀子／会社員

FASHION

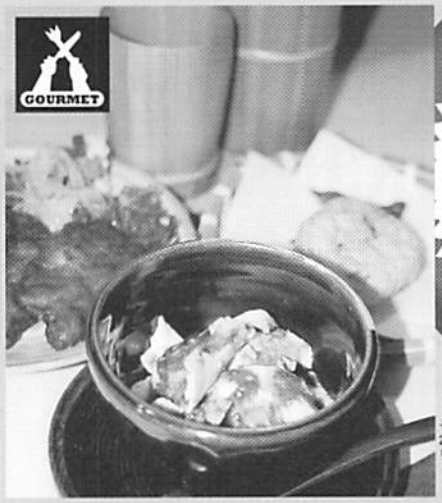
「今年こそ自力で浴衣」を叶えるための秘策発見

祇園祭に大文字、夏の京都の二大行事はもちろん浴衣で…。京都に住む女のコなら一度は思ったことがあるハズ。けど「着付けはお母さん担当」「この浴衣と帯の組合せはおかしいの？」「新しいのが欲しいけど予算がナイ」って浴衣にまつわる悩みもつきないもの。そんなアナタの強い味方となったのが、5月26日に開催された「京町家でゆかたセミナー」。着付け、浴衣と帯のコーディネイト、着こなし講座、お手入れと様々なワークショップに、新柄もたっぷりの浴衣一式をカナリお手ごろ価格で販売と、まさに至れり尽くせり。「もう終わってるやん」って？　主催の友禅ネットは着物をこよなく愛する集団。ゆえに夏真っ盛りの8月にも開催予定。HPをチェックして。

明治41年に建てられた表屋造りの京町家「袋屋（ふくろや）」にて開催されたセミナーは、お茶と1人で着付けられるためのテキスト付きで1000円

京の夏、実感
中村祐子／会社員

●問い合わせ先
友禅ネット ゆうぜんねっと
京都市下京区中堂寺粟田町1番地　京都リサーチパーク・スタジオ棟
☎075・315・8671　http://www.yuzen.net



GOURMET

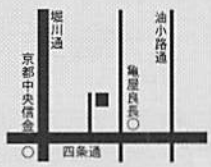
その名も「こくまろ わさ冷奴」280円。味噌カツ480円　バリバリがんもどき250円

ほぞ〜い露地のその奥で毎夜つづく秘酒の宴

猪突猛進型のアナタにはなかなか見つけられない、そんな極細露地の突き当り。カウンター6席のみのフェイスtoフェイスなこの店の、大黒柱的存在は何と言っても地酒。全国で500本のみの限定ものや、酒飲みを感涙させる銘酒の旨みが溜まった樽底から採った滓酒（おりざけ）など、極レア美酒がフツーに並んで、酔い放題。ソレもコレも、前職で培った酒屋さんとの強〜いコネと利き酒の特技があってこそ。とは言えココは、酒っ腹・酒焼け男の巣じゃナイ。まったり濃ゆいコクにヤミツキ必至なから、その製法も入手法も秘密の冷奴。のど越しサラサラ、麦ときびのお茶漬けなど、さっぱりヘルシーメニューでおんなゴコロもすっかり手中に収めてマス。

敷地面積は約2坪！　ただでさえ美味い地酒を、職人さん手作りの秋田杉の杯で頂けばまた格別

BGMはジャズで
山内茂和／店主



●酒菜 ばんから
京都市下京区四条通堀川東入ル柏屋町13
四条会館1階
☎070・5668・5874　営17:00〜翌1:00／日休

GOURMET

頑固さは飾りじゃない！毎日食べて欲しいから…

毎日食べて欲しい山形食パンは一番のオススメ。おじさんは甘党ゆえ、自然とデニッシュ系やチョコが入った菓子パンも充実

わが家の近所には、12年も前から町のパン屋さんとして親しまれているお店がある。作り手のおじさんは、パンにかけては譲らない頑固さを持つお人。まず、たとえパンが売れ残っても、絶対に捨てず、その日のうちに、パン好きの人へおすそ分けしたりするのが鉄則。さらに、朝から始まる家族総動員のパン作りは着々と焼き上がり、お昼には全種が揃うシステム。よって、昼下がりに買い物をする奥様方には嬉しいタイミング。その他、ラッピングをシンプルにすることによって、主役はパン！をアピールすると同時に、毎日食べるパンを出来る限り低価格で奉仕したいっていう思いも。そんなおじさんの一徹さが形になったきめ細かなふんわり食パンがわが家の定番！

住宅地の中に映える赤いサンタマークが目印。奥さん命名の「BARBE」は、仏語で「ひげ」の意味なのだそう

家族全員バルブ族　村上直子／会社員

●BARBE　バルブ
京都市左京区岩倉三宅町45-4
☎075・702・6767
営7:00〜19:00／日休

SPACE

甘のいのちの守り神清水の地に一斉集合

「長さ約30cm、飾り部分の直径約10cmで総金製」、「一見普通、実は中にアイスピックが仕込まれた必殺人仕様」、「道に迷ってもダイジョウブ？先端に方位磁石がついた変わりモノ」。はい、この正体は全てかんざし。幕末、明治の七宝や蒔絵など、繊密で繊細な美しさをキーワードにコレクションを展開する、清水三年坂美術館。その特別展「櫛・かんざし展」で現在公開中の作品のほんの一例なのデス。他にも珊瑚やガラス、瀬戸物に布と素材だけでもイロイロ。芸術品には興味あるけど、何から始めていいのやらって思いあぐねていたアナタ。ゆかたヘアの参考にもなりそうな、こんなアイテムから事始めするのもいいんじゃない？

髪飾りと合わせて、江戸から明治の頃までの女性の髪型を浮世絵にした「時代かがみ」も展示

併設のショップ「如」では、展示作品と同じ視点で選ばれたアンティークアクセサリーを販売

●清水三年坂美術館
きよみずさんねんざかびじゅつかん
京都市東山区清水寺門前三年坂北入ル清水三丁目337-1
☎075・532・4270
営10:00〜17:00／無休